

地上デジタル放送に 対する支援について



テレビのアナログ放送が終わり、地上デジタル放送（地デジ）に完全移行まで二年をきり、

地デジ対応家電の普及が加速している、中継局整備の課題はあるが、総務省が今年五月にまとめたアンケート調査の結果、地デジの受信機を購入した世帯は全国で六割を超え、道内でも55%になり、家電量販店では地デジ対応の好調な売れ行きを見せ、更にエコポイントの導入が追い風になっている。一方、低所得者層、特に年金暮らしの高齢者家庭では地デジテレビが購入できない、まだまだ使えるテレビがあるのに、せめてチューナーを取り付けて楽しみたいが、これもままならない、このような高齢者家庭に支援の考えを伺う。



町長

経済的な理由でデジタル化への対応が困難な方に対しては、国で受信

機器の購入を支援する制度を設けており、その対象となる方は、生活保護等の公的扶助を受けている世帯、障害者がいる世帯で、かつ世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯、そして社会福祉事業施設に入所していて自らテレビを持ち込んでいる世帯とされ

ていて、NHKの受信料が全額免除となる世帯です。この対象になると、現在利用しているアナログテレビでも地上デジタル放送が視聴できるよう簡易なチューナーが無償付されることとなっており、10月1日から申し込みの受付を開始すると伺っている。

このように、高齢者世帯を始めとした経済的な理由でデジタル化への対応が困難な方には、国の一定の配慮もあることから、町がさらに独自の支援を行うということは考えていないので、ご理解いただきたい。

札内東中学校駐輪場等の整備について



町長

札内東中学校は広範囲の地域から、自転車を利用して通学している生徒が多い、駐輪場には屋根があるところがないところがある。屋根のないところにある自転車が多く、雨が降った時は当然ずぶぬれ、帰宅のとき、生徒に不快感を与えている。屋根のない場所の四分の一は水溜り状態、更に教職員の駐車場の通路も大きな水溜り、整備要望は、また安全安心の上からも点検はどのようなに行われているのか、伺う。



町長

駐輪場の雨水処理等については、学校から改修要望のあった教職員用駐車場通路の排水対策と合わせて、今年度中に排水処理を行いたいと考えている。なお、各学校では、自転車通学の安全確保の観点から、雨天の場合や降水確率の高い日などには自転車通学をしないことを生徒に対し指導し、駐輪場屋根の増設等については、現在のところ計画しておりませんのでご理解をいただきたい。学校施設等の点検方法に



地デジチューナーとアンテナ

については、必要に応じて専門的な技術を有する事業者へ委託を行うほか、一般的な視点での巡回及び安全確認について、学校長の責任において公務補の業務内容として、実施をしています。教育委員会としては、これまでにも極力、学校現場に向き、学校施設の安全確保に留意し、今後とも、学校との連携を一層密にし、安心で安全な学校の実現に努めたいと考えている。



札内東中学校駐輪場